

市民5,000人アンケートの結果を紹介

敬老パス

市では、敬老パス制度の今後のあり方を検討するため、市民5千人を対象とした郵送によるアンケートを11月に実施しました。今回は、そのアンケート結果を紹介します。

敬老パスアンケートを実施しました

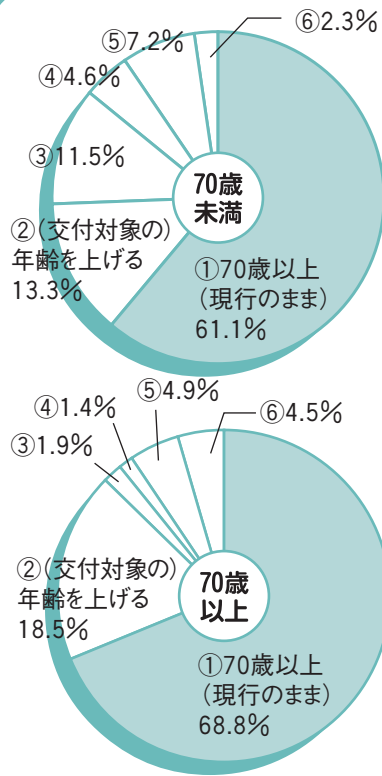
敬老パス（敬老優待乗車証）は、七十歳以上の市民が、地下鉄やバスなど市内の公共交通機関を無料で利用できる制度です。昭和五十年から始まったこの制度は、開始から二十九年が経過。社会経済状況が変化中、現在の制度のまま存続するにはさまざまな課題があり、今後のあり方を検討しています。

そこで、敬老パス制度について市民5千人を対象にアンケートを実施しました。調査はパスの交付対象でもある七十歳以上の方二千五百人と七十歳未満（二十歳～六九歳）の方二千五百人を対象に、昨年十一月十四日に郵送で行い、十二月一日を締め切りとしました。質問事項は約二十項目あり、制度の認知度、今後の制度のあり方など選択肢を設けて質問しました。

三千四百六十人から回答があり、回収率は七十歳以上で80・8%、七十歳未満で57・6%。市で行う郵送によるアンケートの平均回収率40%を大幅に上回り、市民の皆さんの関心の高さを示しています。

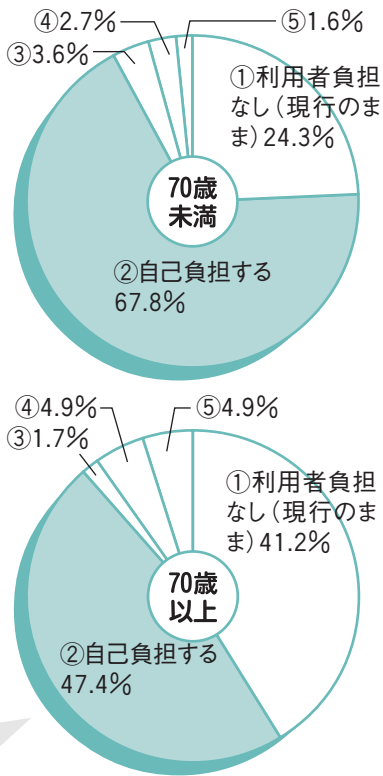
アンケート結果公開

対象年齢についてどう思いますか



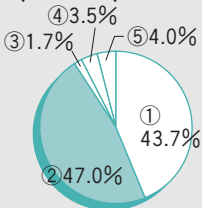
①70歳以上（現行のまま）②（交付対象の）年齢を上げる③（交付対象の）年齢を下げる④その他⑤分からない⑥無回答

利用者の一部自己負担についてどう思いますか



①利用者負担なし（現行のまま）②自己負担する③その他④分からない⑤無回答

70歳以上で敬老パスの交付を受けている方（88.6%）



70歳以上で敬老パスの交付を受けていない方（7.2%）

